

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成19年10月26日（金）

ところ：スイトピアセンター 学習館 4階 学習室2

団 体：大垣市老人クラブ連合会（19名）

対話テーマ：高齢者施策について、活力あるまちづくりについて



【対話内容】

【会員】

このところ、まちの活気が失われているので、活気のあるまちにしたいと思います。老人クラブには、60歳から90歳そして100歳までおられます。

60歳と90歳と比べても30歳の年齢差があるので、考え方もいろいろあります。会員の皆さんの経験を生かした事業を実施していきたいと考えています。

市長さんには、安全、安心の高齢者のまちづくりをお願いしたいです。

【会員】

上石津地域の公共交通機関は、バスのみで、高校生の通学手段が最大の課題となっています。

車社会となり、どうしても自家用車での移動が一般的になっています。

バスは、利用者が減り、それにもなってバスの本数が減り、そして更に利用者が減るという悪循環に陥っています。

我々も、今は、自家用車のハンドルを握れますが、いずれは握れなくなります。

高齢になって車を運転するのは、家族も心配します。

利用者の負担が少ない形で、大垣市内方面へも走るコミュニティバスについての研究を行って欲しいです。

【小川市長】

車社会となり、自家用車を運転する人にとっては、非常に便利な世の中になってきました。

コミュニティバスを今後どうするのかは課題ですね。

市民の皆様も、やはり、自家用車が便利だと思っていますし、バス停で何分もバスを待つことができなくなっています。

公共交通機関の利用者が減ったのは、車社会となったことだけが原因ではないと思っています。

鉄道の利用者は、昔の半分くらいとなっているわけですが、以前と子どもの数が大きく減っており、通学で利用する生徒が減ったのも要因だと思います。

コミュニティバスを走らせる場合は、基本的に、民間のバスが走らないところを行政で走らせることとなります。

公共交通機関の充実は、基本的には、サービスの充実で民間事業者の皆さんに考えてもらいたいと思いますが、経営状況が厳しいので、なかなかむずかしいでしょうね。

いずれにしても、関係者に会う機会があれば、お話をしておきたいと思います。

【会員】

大垣駅はまちの活性化を考えるうえで非常に大切な存在です。

大垣駅周辺では、大型商業施設もオープンし、病院も開設されます。

多くの市民が大垣駅を利用することが考えられるので、電車を増便してはどうかと思います。

大垣発の上り列車が減り、岐阜発になっているので、大垣発の電車を増便してほしいです。

私は、昔、国鉄、現在のJRを利用して通勤していました。

昔のように多くの大垣発列車があると良いと思います。

【小川市長】

増便するかどうかは、JRさんの判断になります。

現在でも、15分に1本は電車がありますので、なんとか、いつでも乗れるイメージはあります。

しかし、確かに、普通列車で岐阜発のものが多いです。

以前、大垣市としても、JRさんへ要望しましたが、あくまでも民間企業ですので、なかなか難しいというのが現状ですね。

今後も、機会があれば、増便について要望していきます。

【会員】

スイトピアセンターの会議室利用の時間区分を細分化してもらいたいです。

現在は、午前、午後、夜間というように大きな区分になっています。

文化ホールなどの施設については、それで良いかもしれませんが、1時間の会議をやるのに、半日も借りなければならない。

当然、使用料も高くなります。

【小川市長】

利用される方のパターンは様々ですので、なかなか難しい問題ですね。
体育施設なども含め、きめ細かい料金体系を検討していきたいと思えます。

【会員】

緑の村のグラウンドゴルフの使用料が1,000円になっていますが、近くに民間で500円のところがあります。

民間の施設のほうが、安く、綺麗な施設になっています。

グラウンドゴルフの施設は、まだまだ少ないので、市の施設についても、使用料を下げ、利用しやすいようにしてください。

【小川市長】

市の施設が、民間の施設より使用料が高くて質が悪くては良くないので、検討してみます。

【会員】

高齢者にはさまざまな課題があります。

垣老もどうなるのか心配しています。

介護保険も課題が多いです。

訪問介護などは、老人の所に訪問するのは、やはり、老人の方が良いように思えます。

介護施設も多くなってきていますが、入所希望を持っていても入所できない人も多いです。

介護用具等の貸し出しも継続して行ってほしいです。

【小川市長】

ご心配の医療制度改革については、とりあえず、現状の負担割合のままになりそうです。

介護施設は、充実すれば、保険料が高くなってしまいます。

なかなか悩ましいところであり、大きな課題です。

大垣市は、介護施設が充実している分、保険料が安くありません。

在宅サービスの充実が、皆さんの負担が少なくてサービスが充実する良い方法ではないかと思えます。

【会員】

垣老は非常に良い制度ではありますが、今後、団塊の世代が控えており、将来的には、財政の圧迫要因とならないか心配しています。

結果的に、後世に負担を転嫁するようなことがあってはいけません。

【小川市長】

団塊の世代は、いつもターゲットになります。

団塊の世代の皆さんが該当するような時期には、制度を変更せざるを得ないこともあります。

団塊の世代の皆さんが課題となる前に解決しておかなければならないと考えています。

【会員】

単位の老人クラブでは、会計担当者の担い手が少なくなっています。

補助金の使い道が非常に細かく定められています。

研修会で説明していただいても、やはり、難しいです。

事務がしやすいように会計簿を作成していただいたので、分かりやすくはなりましたが、やはり、悩むことも多いです。

他の市町村でも同じように事務が進められているのでしょうか。

どうしても、行政サイドからみた様式になっており、非常に分かりにくいです。

【小川市長】

事務の負担は大変なことではありますね。

しかし、国の補助金は、細かく定められており、事務の負担はありますが、仕方のないところです。

逆に、頭の体操にはなりますね。

担当課も説明会の充実などを検討しているので、何とかご理解いただきたいと思います。

【会員】

東海環状自動車道路の西回りルートが建設が進みそうですね。

本来であれば、20年かかるところを10年でやるとの話も聞きました。

10年後には、伊勢そして豊田へ東海環状自動車道路で繋がることになります。

インターチェンジの近くなどに先行して用地を取得して、工業団地を整備してはどうでしょうか。

岐阜県内に誇る工業都市として発展して欲しいと思っています。

また、中心市街地で空地や駐車場となっているところは、1階を商業施設としたマンションにして、高齢者住宅としてはどうでしょうか。

岐阜市でも、岐阜駅周辺で再開発が進み、賑わいを取り戻そうとしています。

【市長】

東海環状自動車道の西回りルートが完成すれば、大垣市は、更に便利な地域となります。

工業団地については、検討中で、適地について調査中です。

これは、上石津地域も含めて検討をしています。

将来に向けて、産業都市として発展していくための素地を造りたいと思っています。

昔は、神岡町と大垣市だけが地方交付税の不交付団体でした。

大垣は、再度、不交付団体となりましたが、まだまだ楽になったわけではなく、産業振興は、しっかり取り組んでいかなければなりません。

近年は、工場跡地が商業施設となってきましたが、将来的には、商業施設が工場になる可能性もありますね。

中心市街地の高齢者住宅については、1階の商業施設に商店が入ってくれるかどうか課題ですね。

いずれにしても、駅に近いところがもっと住宅地域となってよいと思っています。

車社会ではありますが、いざというときは、やはり、公共交通機関が大切になりますね。